



## 一般的な注意：理論試験（30点）

理論の試験時間は5時間であり、配点は30点である。

### 試験前

- 試験開始の音声による合図があるまで、問題の入れられた封筒を開けてはならない。
- 試験の開始と終了は音声による合図で指示する。1時間経過するごとに告知され、（最終的な終了の音声による合図の前に）試験終了の15分前にも合図がある。

### 試験中

- 用意された解答用紙 (answer sheets) は、自分の解答を記入するためのものである。対応する解答用紙 (Aと記入されている) の適切な表、枠あるいはグラフの中に結果を記入せよ。各問題に対して、詳細な作業を実行するための余分な白紙 (ワークシート、work sheets) (Wと記入されている) が用意されている。現在作業している問題に対するワークシートを用いているかどうか、つねに注意すること (用紙上部にある問題番号をチェックせよ)。採点されたくないことを用紙に記入してしまった場合には、その箇所に「×」印を付けること。すべての用紙の表 (おもて) 面だけを用いよ。
- 解答は、できるだけ簡潔にせよ。つまり、自分の考えていることを、できる限り数式、論理演算、図を用いて説明し、長文の使用は避けること。
- 数値に言及するときは、適切な有効数字で答えること。
- 前の問いに答えなくても、後ろの問いに答えることができる場合がしばしばある。
- 物理定数のリストは、次ページに与えられる。
- 許可なしに試験の場を離れてはいけぬ。何か補助が必要な場合には (飲料水を補給したい場合や、電卓が壊れた場合、トイレに行きたい場合など)、3つの旗のうちの1つを掲げて、チームガイドに伝えること。飲料水ボトルへの補給は、"H<sub>2</sub>O"、トイレに行きたい場合は、"WC"、その他のすべての場合は、"Help" の旗を掲げよ。もし、さらに白紙 (ワークシート) が必要な場合は、"Help" の旗を掲げよ。

### 試験終了時

- 試験の終了時には、直ちに書くのをやめなさい。
- それぞれの問題について、対応する用紙を次のように仕分けること：表紙 (C)、問題 (Q)、解答用紙 (A)、ワークシート (W)。
- 1つの問題に対する用紙は、すべて同じ封筒のなかに入れること。また、全般的な注意 (G) は、残った別の封筒の中に入れること。また、何も記入していない用紙も提出すること。試験場からどの用紙も持ち出してはいけぬ。
- 封筒が回収されるまで、自分の席で待ちなさい。すべての封筒が回収されると、ガイドが試験場の外へ誘導する。筆記用具 (1本のボールペン、1本の鉛筆、1本の物差し、1個の消しゴム/鉛筆削り) および電卓は持ち帰ること。また、飲料水ボトルも持ち帰ること。